

岩手宮城内陸地震 10 年メモリアル国際シンポジウム

「地震による斜面災害の実際と克服の工夫」

【趣旨】

2008 年 6 月 14 日朝に突如として発生した M7.2 の 2008 年岩手宮城内陸地震では、最大震度 6 強という揺れと、4000 箇所にあふ山地災害によって、23 名の方がその犠牲となり、耕英地区を始めとして多数の方々が孤立する事態が生じました。この内陸直下型地震は全く予期せぬもので、一瞬にして災禍に見舞われた地域は復興の長い道のりを歩まざるを得ない状況に突き落とされました。発災直後からは消防・自衛隊・警察が人命救助・捜索に当たり、関係機関・関連学協会・コンサルタント・大学は地震と災害の実態把握に努め、自治体と地域住民は生活の復旧に励むことになりました。

しかし、2011 年の東日本大震災と津波の発生もあって、内陸地震の記憶は地元でさえ急速に薄れつつあります。このような状況に危機感を強める栗原市では、日本最大規模の地すべりである「荒砥沢地すべり」を始めとする山地災害の現場を「防災教育の場」、「自然の驚異を目の当たりに体感する場」として役立て、後世に伝えることを柱の一つとして栗駒山麓ジオパークを設立いたしました。

震災発生から 10 年を迎え、急ピッチで進められた災害復旧の対策にも完成の目途がつき、地域では復興の兆しが見えつつあります。ジオパーク活動と学校の総合学習・防災教育との協働も定着してきました。この機会に、地震を契機とした斜面災害の実際と克服過程を振り返り、併せて国内外の様々な斜面災害対応の諸事例にも教訓を求めるために、「地震による斜面災害の実際と克服の工夫」と題した国際シンポジウムと現地視察を行います。

これらの企画を通して、「必ず、しかしいつ・どのように来るのかが判らない災禍」に対しても、平時の在り方を学び、災害発生メカニズム・事実認識・防災・減災対応の具体像を考察する機会を得ることになると期待しております。

【開催概要】

- 日 時： 平成 30 年 7 月 6 日(金) 10:00~17:20
場 所： 栗原市志波姫「このはな咲くや姫ホール」
(宮城県栗原市志波姫沼崎南沖 452 TEL 0228-25-3113)
- 参加人数： 約 250 名
参加費： 無料
C P D： 6.00 時間(予定)(一般社団法人建設コンサルタンツ協会)
問合せ先： 宮城豊彦 (miyagi@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 090-2988-1650)
佐藤英和(栗駒山麓ジオパーク推進室)

【懇親会】

- 場 所： 平成 30 年 7 月 6 日(金) 18:00~20:00
場 所： くりはら交流プラザ「ホテルエポカ」
(宮城県栗原市志波姫新熊谷 279-2 TEL 0228-23-8866)
- 参加費： 5,000 円(当日会場で徴収します)

【シンポジウム プログラム】

【主催者挨拶】 10:00～10:10

(公社) 日本地すべり学会東北支部長 大河原正文 (岩手大学工学部准教授)
栗原市長・栗駒山麓ジオパーク推進協議会議長 千葉健司

【Session 1】 10:10～12:10

1. 佐藤英和 (栗原市): 岩手・宮城内陸地震とともに歩んだジオパーク活動
2. 王文能 (台湾工業技術研究院)
: The Chiufenerhshan landslide by the 1999 Chi-Chi Earthquake in Taiwan (1999年台湾集集地震による九分二山地すべり)」
3. 八木浩司 (山形大学): 21世紀初頭以降頻発する直下型内陸地震に伴う斜面災害の特徴
4. 目代邦康 (日本ジオサービス)
: ジオパークによる自然災害に対しての地域のレジリエの向上

【Session 2】 13:00～14:40

5. 檜垣大助 (弘前大学): 日本における近年の大規模地すべり事例の地形・地質的特徴
6. 山田隆三 (防災科研): 日本における地すべり地形マッピングとその情報化
7. Ngo Doan Dung (ITST, MOT, Vietnam)
: Introduction Trial of landslide topography mapping using AW3D data
- A case study along the NH7 in Central Vietnam.
8. Nguyen Kim Thanh (ITST, MOT, Vietnam)
: Analyze for identification landslides along the mountain roads of Vietnam base on UAV and QGIS approach.
9. 佐藤 剛 (平成帝京大学)
: AW3D を用いたホンジュラスにおける斜面災害とその対応

【Session 3】 15:00～17:00

10. 濱崎英作 (株式会社アドバンテクノロジー): 東北の大規模地すべりと発生要因
11. Le Hong Luong (ITST, MOT, Vietnam)
: Introduction of landslide in Xekaman 3 Hydropower Project, Vietnam.
12. 鄒 青穎 (ツォウ, チンイン; Tsou, Ching-Ying (弘前大学)
: 歴史地震地すべり地の地学・防災教育への活用 - 津軽十二湖地すべりを例に-
13. 宮城豊彦 (東北学院大学)
: 2008年岩手宮城内陸地震で発生した荒砥沢地すべりとその順応的管理とジオパーク化
14. 柳沢英明 (東北学院大学)
: 中華人民共和国長白山火口湖天池の地すべりと津波災害予測
15. 佐藤翔輔 (東北大学災害科学国際研)
: 災害の記憶を継承する意義 - 過去の被災事例をもとに-

【講評・閉会の挨拶】 17:00～17:20

東北学院大学教授・栗駒山ジオパークアドバイザー 宮城豊彦